

# 佐久市議会議員 議会報告 高柳 ひろゆき 通信



発行 高柳 ひろゆき後援会事務所 佐久市塩名田 558-6  
電話 0267-58-4367 携帯 090-4613-0021  
メールアドレス [shionada5586@ybb.ne.jp](mailto:shionada5586@ybb.ne.jp)

### ●ご挨拶

若葉の美しい季節となりましたが、ロシアによるウクライナへの侵略や終わりの見えない新型コロナウイルス感染症により世界中に閉塞感が漂っています。侵略行為は人心よりおこる人災です。幸せで平凡な人生を送るはずであった多くのウクライナの人々の尊い命が失われています。一日も早い終結を切に願ってやみません。

さて、今回は第1回定例会議（2月21日～3月24日の間）で可決された当初予算の一部や佐久市議会だよりで掲載された議員定数についての私の考え、また代表質問につきましてご報告します。

### ●令和4年度の一般会計当初予算のご案内

予算は対前年29億円減の496億円で可決されました。自主財源の合計額は、約234億円、予算に占める割合は、47.1%です。性質別歳出で見ますと、前年度比較で災害復旧費が約33億円減少しています。

### ●気になる新規事業内容と予算について

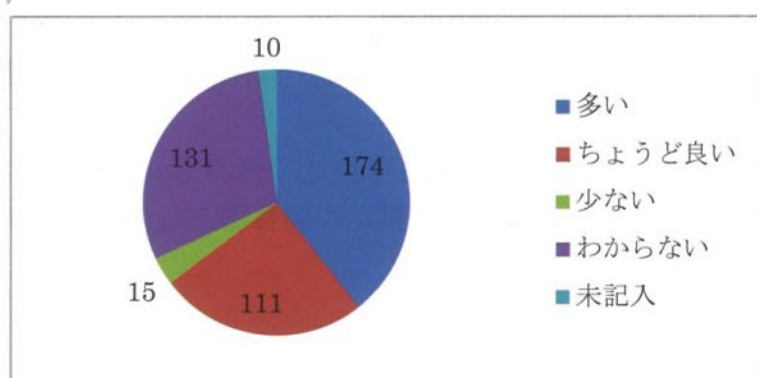
- ① 佐久大学と連携した地方創生事業（3,500万円） 大学が地方創成に資する事業を計画し、市が認定した際には、経費の1/2、上限3,500万円を令和6年度までの3年間補助する。
- ② 自転車用ヘルメット購入費補助事業（12万円） 重大事故を未然に防ぐため自転車ヘルメット購入に対し、補助対象経費の1/2の4,000円を限度に補助金を交付します。
- ③ 個別避難計画作成事業（約290万円） 佐久市における要支援者対象者約13,000人について避難支援者や避難場所等を示した個別避難計画書を順次作成します。
- ④ シャインマスカット等栽培実証試験補助事業（900万円） JAを中心に行う栽培実証試験に対し施設整備に係る費用に対し補助を行います。
- ⑤ 佐久総合運動公園陸上競技場第2種公認更新事業（約1億3,000万円） 日本陸上競技連盟の第2種公認更新（5年ごと）に必要な改修工事等の事業費、財源は総合運動公園基金や独立行政法人日本スポーツ振興くじ助成事業を活用予定です。
- ⑥ 香坂山遺跡国史跡指定申請事業（約460万円） 現在、日本最古の旧石器が発見された香坂山遺跡を国史跡の指定を受けるための申請事業。本年は、調査委員会を設置し申請に向け遺跡の範囲確認調査を行います。
- ⑦ 野沢地域活性化観光駐車整備事業（約5,300万円） ぴんころ地蔵尊や野沢山門市への来場者用専用駐車場として使用している民有地を市が取得整備するための工事費及び私有財産購入費用として。

### ●議員定数について

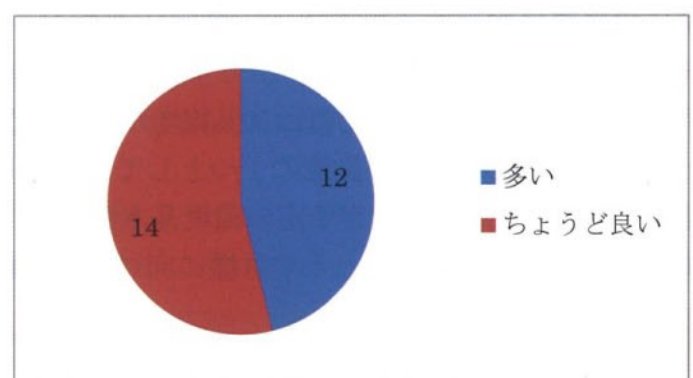
5月号の佐久市議会だより（ギカイの窓）で議員定数に関する市民アンケートの結果についてご案内していますが現在、佐久市議会に於いては、議員定数について検討を重ねているところです。

昨年11月に全議員対象に行われた議員定数に関するアンケート結果では、現在の定数は多いが12名、ちょうど良いが14名となっています。

市民アンケートの結果（対象者1,000人 回答者数441人）



議員アンケートの結果（全議員26人）



私は現在の議員数は多いと考えています。主な根拠理由は下記の3点となります。

- ① 無投票選挙となり、市民の皆さんの信託を得ずして議員になることを回避するため。
- ② 常任委員会の討議人員は7～8名がベターであり、佐久市議会では3常任委員会が設置されており、議長ほどの委員会にも所属していないので3常任委員会+議長=22名～25名となります。
- ③ 同規模人口の飯田市、安曇野市と比較して多いので。

令和2年12月31日現在

市名	人口(人)	議員定数(人)	面積(k㎡)	議員一人当たりの面積(k㎡)
佐久市	98,661	26	423.5	16.3 (約4キロ×4キロ)
安曇野市	97,176	22	331.8	15.1
飯田市	99,526	23	658.7	28.6

市民アンケートと議員アンケートの結果には乖離<sup>かいり</sup>がありますが、今後開催される市民の皆さんとの意見交換会や議員間討議を通じ望ましい議員定数を決定する事となります。また市民アンケートでは、若年層を中心に「わからない」と回答された方が全体の3割を占めており、情報発信の強化に取り組む必要性を認識しました。

※佐久市議会議員定数に関する市民アンケートの集計結果は佐久市議会のHPでご確認下さい。

## ● 下記の代表質問を行いました

### 第二次佐久市総合計画後期基本計画における地球温暖化対策について

(高柳) 前期基本計画で施策目標が達成されていないようですがその理由を伺います。

(山田環境部長) 前期基本計画における施策目標値は、市民アンケートによる満足度指数としており、令和3年度の地球温暖化対策の施策目標は、3.06でしたが市民アンケートによる調査結果は、満足度指数が2.99となり施策目標には達していません。市民アンケートは、満足度として、1から5の項目にわかれており、当てはまる番号に印をつけ満足度指数を集計します。中央値は3で満足度は「どちらでもない」となります。令和3年度の施策目標に満足度が達しなかった理由は、令和2年に佐久市非常事態宣言を行った事で、地球温暖化に対する市民の関心が高かったことから、さらなる施策を望まれ、満足度が達しなかったと受け止めています。また、令和3年度は、2050年ゼロカーボンを目指した取り組みとして、新たに太陽光発電設備と併せて蓄電池システムを導入した際の補助や、7月からLED照明や省エネ性能の高い冷蔵庫へ買い替える、省エネ家電製品への買い替え、更に電気自動車への補助をしてきましたが、市民アンケートが8月に実施されたことから、7月より実施した補助制度の内容が十分に市民の皆さんに伝わらず、満足度に結びつかなかったと考えています。

(高柳) 後期基本計画の脱炭素に向けた取り組みについて伺います。

(山田環境部長) 始めに、第二次佐久市環境基本計画は平成30年度から令和9年度(2027年)までの10年間を計画期間としたもので、地球温暖化対策をはじめ、本市を取り巻く情勢が変化し、見直しの必要性が生じたことから、令和4年度に改定を行うものです。現在の環境基本計画において基本目標としている「低炭素社会の実現」については、数値目標として計画最終年度である令和9年度(2027年)に、市の二酸化炭素総排出量を平成25年度比で、21%削減するとしていますが、現在の目標では不十分なため、環境基本計画を改定し、計画最終年度である令和9年度(2027年)の目標値の再検討及び、国の中間目標である2030年度の二酸化炭素の総排出量等の目標を設定し、低炭素社会から脱炭素社会に向けた取組みを推進します。また改定を進める上で、市民アンケートによるニーズの把握を行うと共に、太陽光発電整備の設置出力や省エネ住宅の件数、次世代型自動車の普及台数と言ったわかりやすい指標を設定し進捗管理をする予定です。



瑠璃色の地球

(高柳) 脱炭素に向けた工程表について伺います。

(山田環境部長) 現段階において、2030年度の中間管目標については、長野県の計画に準じて市内から排出される二酸化炭素排出量を平成25年度(2013年)比で概ね50%程度の削減が必要と考えています。またこの目標達成のための施策の1つとして、再生可能エネルギーの導入量を、令和2年度比で概ね1.5倍程度にする必要があると考えます。改定予定の環境基本計画の中で検討し、工程表には、国や長野県が中間目標としている2030年度の二酸化炭素の排出削減目標とその目標に向けた取組みを示していきます。

皆様のご意見、ご要望をお気軽にお寄せ下さい!! <https://takayanagi-hiroyuki.net/>

